

検討の観点と内容の特色

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 歴史』の特色	該当箇所
内容の程度・分量	指導計画作成上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文は見開き 2 ページで 1 単位時間を原則にしています。 ● 目次・索引、巻末資料などを除いたページ数は 276 ページで、標準授業時数 135 時間のうち、5 単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能で。 ● 授業時数は、1 章に 6 単位時間、2 章に 19 単位時間、3 章に 16 単位時間、4 章に 22 単位時間、5 章に 27 単位時間、6 章に 19 単位時間、7 章に 14 単位時間を配当しており、適切な配当といえます。 	全体
	適正な内容・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、文章も敬体（ですます体）を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。 ● ふりがなは、教育漢字外の漢字に、見開き 2 ページごとに付すことを原則に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また、本文だけでなく、資料ごとに付すことで、ほかの箇所で見方を確認する必要がないようにしました。 	全体
教育基本法・学習指導要領への対応	基礎的・基本的な知識・概念や技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 見開き 1 単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1 時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧に分かりやすい『本文』→1 時間の学習課題を解決する『チェック&トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 	全体
		<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。 	巻頭 3、p.1、11、13、16-19 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 本文等の抽象的な用語を解説する巻末の「用語解説」を設け、基礎・基本を確実に理解できるようにしました。また、QR コンテンツでは、社会科で学習する用語が確認できる「社会科用語マスター」を用意しています。 	p.276-281
	「歴史的な見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ● 第 1 章 2 節で「歴史的な見方・考え方」を明示してとらえさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしました。 	p.10-15、26、30、36、39、43、48 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 各見開きには、短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。 	p.24-25 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 各章の終結部には「ウェビング」「ステップチャート」といった多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。 	p.60-62、94-96、140-142 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。 	p.22、26、38、42、62 など
	我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え、国土、歴史に対する理解と愛情を深めるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 政治史や経済史に偏重することなく、文化史にも十分な紙面を割くとともに、「もっと知りたい!」では、神話やアイヌ文化など、現代に受け継がれている文化を扱うことで、我が国の伝統や文化に対する理解を深め、伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるようにしました。 	p.50-51、58-59、74-75、86-87、110-111、120-121 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 第 1 章 2 節には、我が国が世界に誇れる国宝や重要文化財などを取り上げ、通史学習でも該当の文化財や世界遺産、世界の記憶、無形文化遺産にマークを付すことで、文化財を通して、我が国の歴史に対する理解と愛情を育てられるようにしました。 	p.20-21 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 時代や出来事のポイントとなった人物を紹介した人物コラムを随所に設け、人物に目を向けた歴史学習を行えるようにしました。特に、近代以降の人物には、出身県を示すことで、郷土にゆかりのある人物を意識できるようにしました。 	p.53、101、160、170、208、265 など
我が国の領域を正しく理解できるように配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国がかかえる領土をめぐる問題について、領有の歴史的な経緯を取り上げることで、領土をめぐる問題の背景を正しく理解し、解決に向けての意識が高められるようにしました。 	p.174-175、176-177	
公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 巻頭では「歴史に学ぶ 持続可能な社会の実現に向けて」を設けて、これからの未来を考えるために歴史を学ぶ必要があることを意識できるようにしました。 	p.2-3	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域の歴史を調べよう」では時代や地域の異なる 5 事例を紹介し、「身近な地域の歴史」を学ぶことを通して、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようにしました。 	p.40-41、138-139、164-165 など	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「未来にアクセス」では、歴史的な経緯を踏まえながら現代社会においても継続的な課題である社会事象を意識できるようにしました。 	p.209、247、253、263、265 など	
構成・配列	教材の配列は、学習しやすいように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各時代の学習を、「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れをとらえやすくしました。 	(古代の例) 導入部：p.22-23 → 展開部：p.24-25 → 終結部：p.60-63

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 歴史』の特色	該当箇所	
構成・配列	導入やまとめ、問題提起に必要な教材、学習の整理のための配慮などは、十分になされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2～7章の学習は、①単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」→②1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→③「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくなりました。また、節ごとに設けた「探究のステップ」に取り組むことで、「探究課題」をスムーズに解決できるようにしました。 ● 各見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、学習にスムーズに入れるようにしました。 	(中世の例) ①導入の活動：p.64-65 → ②問いの追究：p.66-67 → ③まとめの活動：p.94-97	
	写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果が高めるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしました。 ● 歴史研究の成果をふまえ、復元写真や想像図など、歴史が実感できる資料を豊富に掲載しました。 ● 小さな資料は実物大で掲載し、大きな資料にはサイズを付すことで、生徒が具体的なイメージを持って学習できるようにしました。 	p.24、35、38 など 全体 実物大資料：p.34、37、45、47、88、125、161、169	
	小学校や高等学校との接続・系統性があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真でふり返るページを設けるとともに、QR コンテンツでは既習事項をふり返るなど単元学習をイメージしやすいコンテンツを用意して、小・中の学習を円滑に接続できるようにしました。 ● 巻頭に絵画資料や資料や写真から時代をとらえる「資料から発見!」を設け、また各章末に年表や地図、グラフ、絵画資料などを読み取るコーナーを設けて、高等学校の必修科目「歴史総合」につながる資料を読解する力を養えるようにしました。 	p.22-23、64-65、98-99、144-145 など 巻頭 1-p.1、63、97、143 など	
	他分野との関連に配慮しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 3年間の社会科学学習を貫く5つのテーマ(「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」)について、3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマークを付すことで、多面的・多角的な学習ができます。 	p.120-121、196、266-267、268-269 など	
	他教科との関連に配慮しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 国語、道徳など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークを付し、教科を横断した学習の確認ができます。 	p.16、29、51、57、75、211 など	
	学習効果が高めるQRコンテンツが用意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入→本文→まとめという学習の流れの中で活用できるよう、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意しました。 ● 導入ページでは、小学校の学習をふり返る動画を用意し、小学校の学習内容を思い出ししながら、中学校の学習をスタートできるようにしました。 ● 展開ページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまづきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、QRコードを学習課題の隣に置きました。 ● まとめページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容をまとめるワークシートを用意しました。 	全体 p.22-23、64-65、98-99 など p.24 など p.60-62、94-96 など	
	今日的な課題への対応	持続可能な開発目標 (SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。 ● 第7章「現代の日本と私たち」では、「持続可能な開発目標 (SDGs)」を取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。 	p.2-3、274-275 p.265
		環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ● 公害問題や地球環境問題、日本のエネルギー政策などについて多様な教材を掲載し、話し合いなどの活動を通して、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。 	p.155、193、256-257、266-267 など
		人権・平和	<ul style="list-style-type: none"> ● 同和問題や、アイヌ民族、琉球王国、在日韓国・朝鮮人の歴史を、ページを割いて扱い、人権尊重・多文化共生の意識を高められるようにしました。 	p.86-87、93、118-119、120-121、218-219、247、265 など
		伝統・文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化史に十分な紙面を割き、我が国の伝統や文化を着実に理解できるようにしました。 	p.50-51、56-57、74-75 など
<ul style="list-style-type: none"> ● 代表的な国宝・重要文化財や主な史跡を取り上げた特設ページを設けて、我が国の伝統や文化に対する関心が高められるようにしました。 			p.20-21	
防災・安全		<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校の学習指導要領に示された42人の人物をもれなく取り上げるとともに、人物コラムを設け、人物を手がかりにした歴史学習ができるようにしました。近代以降の人物については出身県を示し、郷土の偉人を確認できます。 ● 歴史上の災害やそれを乗り越えてきた人々の姿、歴史上の防災対策を、本文ページや「もっと知りたい!」で取り上げ、防災・減災への意識や態度を養えるようにしました。 	p.69、70、80、83、170 など p.130、197、217、264-265、268-269 など	

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 歴史』の特色	該当箇所
今日的な課題への対応	情報・技術	● 我が国におけるメディアの発達とそれに伴う社会や文化の変容について、本文ページや「もっと知りたい!」で取り上げ、現在の情報環境の成り立ちを歴史的にとらえられるようにしました。	p.170-171、196、216、258-259 など
	先生がたの働き方改革への貢献	● 1見開きあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。	全体
		● 単元における「導入の活動」と「まとめの活動」に一体感をもたせ、単元構想が立てやすくなるようにしました。	p.22-23、60-62 など
		● 紙面上で、活用場面に「見方・考え方」を働かせる視点の例をわかりやすく提示しました。	p.26、30、36、39、43、48 など
	インクルーシブ教育を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。 ● 資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 ● 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント (UD フォント) を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 ● 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 ● 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 ● 別途発行予定の学習者用デジタル教科書では、文字の大きさ変更 (リフロー表示)、本文の読み上げ (機械音声)、文字色・背景色・行間の変更や、ふりがな表示、分かち書き表示に対応し、全ての子どもの学習を支えます。 	全体
令和の日本型教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙面に付した QR コードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせた学習を調整することができます。 ● 学習者用デジタル教科書では、画面に表示される紙面上の QR コードをクリックするだけの操作で、簡単に QR コンテンツにアクセスすることができます。 	全体	
印刷・造本	表記・表現	● 視覚的効果が高い幅広の判型 (A B 判) を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっています。	全体
	製本・印刷	<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ● 強力な接着剤を用いた製本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。 	全体
	用紙・紙質	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。 ● 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えるように工夫しています。 	全体

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。